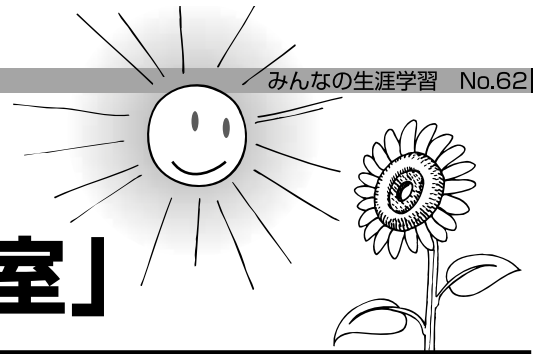


米長邦雄の「親子ふれあい将棋教室」



東京都教育委員会では、夏の「とうきょう親子ふれあいキャンペーン」(6月、7月)の一環として、7月20日に都庁の第二本庁舎ホール等で、(社)日本将棋連盟の協力と御蔵島村の協賛により、「米長邦雄の親子ふれあい将棋教室」を開催しました。

小・中学生と保護者109組の皆さんが親子対局を楽しまれ、「米長先生の『対局相手の子どもも応援することが大事』というお話に親として子どもにかかわる姿勢を覚えていただいた。」



というような感想が寄せられました。そのほかにもサイン会、初心者コーナー、森内俊之名人外8名のプロ棋士の皆さんとの指導対局を行いました。今回は、御蔵島村特産物の展示と名産の柘植駒で将棋を指すというコーナーも設置し、大好評でした。

予告

東京都教育委員会では、10月と11月を秋の「親子ふれあいキャンペーン」期間と定め、民間団体、区市町村、都立社会教育・文化施設等で親子がふれあう機会を提供します。

また、キャンペーンへの参加を希望される団体、区市町村、都立施設の方も気軽にお問い合わせください。

お問い合わせは・・・

東京都教育庁社会教育課 電話03-5320-6859
<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>

「心の東京革命」の取組の一環として、自然体験や多様な年齢層の人々との活動をすることで、豊かな人間関係を築く力を養うことを目的として「アドベンチャースクールin大島」を実施しました。

参加者は、小、中、大学生112人、指導スタッフ等23人の総勢135人で、中学生は8月4日(日)から、小学生は5日(月)から10日(土)までの日程で行われました。

大島では、野外炊さん、テント泊、磯観察、三原山冒険ハイク、キャンプファイヤー、体験活動などを行いました。

約1週間の共同生活とさまざまな体験をとおして、参加した小、中学生は一回り大きく成長し、たくましくなって帰ってきました。

アドベンチャースクールin大島



日	プログラム		宿泊地
8月 4日	中学生竹芝発		船中泊
8月 5日	中学生、大島着、波浮地域散策		大島セミナーハウス
	小学生、竹芝発、大島着		
8月 6日	海のふるさと村移動、テント設営、村内散策		海のふるさと村
8月 7日	炊さん	三原山冒険ハイク	テント泊
8月 8日		班別活動(磯観察、釣り、ロープワークなど)	大島セミナーハウス
8月 9日		キャンプ撤収、体験活動(酪農、椿油作り、御神火太鼓など)	
8月10日	元町散策、大島発、新宿着		

アドベンチャースクールin大島で校長を務めた浦田憲二さんに聞きました。

Q 最近の子供についてどのようにお考えですか？

A マスコミなどでは、耐性がないとかキレやすいとか言われていますが、そういうことはなく、子どもは、昔の子どもが持っていたのとは変わらない力を持っていると思います。ただ、子どもがさまざまな経験、体験をする場が限られていて、潜在的に秘めている力を発揮できていないのではないのでしょうか。

Q 今回の目的である体験活動、異年齢交流の意義は？

A 体験をするということは、自分の持っている力を発揮し、自分の可能性を確かめることにつながるのではないのでしょうか。そして、異年齢交流は、自分と違う考えを知り、多様な刺激を受ける機会になるでしょう。その中で、自分自身を支える経験になると思います。

Q 大島とは？

A 海も山もあり、自然の要素が多く盛り込まれている場所だと思います。また、三原山という活火山もあり、地球のダイナミズムも感じます。